



シゲモリ翁とゆく  
ニッポン  
「～の隣」散歩

● 6 ●

人気沸騰！ 北区赤羽「～の隣」

ボクらの味方！ ヘイ・ジュージョ

今月のゲスト 加藤ジャンプさん



散歩翁・坂崎重盛が月替わりのゲストを迎え、人気スポット「～の隣」にある街を巡り歩く『ニッポン「～の隣」散歩』。六回目の今回は、加藤ジャンプさんと東京・北区の十条を歩いてみました。城北屈指の人気スポット赤羽の隣町はどうなっているのか――？

ひかえめな町おこし

五月上旬の突然暑くなった日の午後三時。JR埼京線十条駅から歩き始める。

シゲモリ翁（以下、翁） 赤羽と十条の関係は、大井町と大森に似てると思うね。それに十条は古くい店が残ってるんですよ。ほら、ここ（大衆食堂「天将」）、いいでしょ。このサンプルのウインドケース見てくださいよ。刺身、揚げ物、煮付けなど定食のおかずだけならほとんどが三〇〇～五〇〇円前後。ビールのつまみに絶好じゃないですか。

加藤ジャンプ（以下、加） 暑いから、ビール、やりますか？ ポテサラあるかな？ 早い？

― ワタシはかまいません。暑すぎますよ、今日。  
翁 ……あれ、ちよつと待って（と、翁、姿くらます）。  
加 どうしたんですか？  
― 知り合いでもいたんじゃないですか。  
（二分後）

翁 いやあ、ステッキを駅に忘れてしまいました。  
加 ああ、どうもいつもの坂崎さんじゃないと、なんとなく感じていたのは、ステッキを持ってなかったからか。ステッキなければ、タダの人。



十条銀座に入るとすぐ。和食・洋食何でもあり！



暑さに負けず十条を歩き回るお二人。それもこれもうまいビールを飲むための修行？

翁 ほんと、ほんと。えーつと、こつちから歩きますか。もうすぐ再開発されちゃうつていうほう（駅の西南方面）。

加 あんが閉まってる店ありますね。  
翁 この喫茶店はいつ来ても閉まってる。昭和な、いい雰囲気なんだけどなー。床屋さん（理容オニザワ）は健在だ。

加 おつ！ 古そうな酒屋さん（木田酒店）。  
翁 いいよねー。どつしりとした瓦屋根で古の商家建築でしょう。でも、ちよつとアブない。地震来たらキビしいだろうなあ。

加 屋根の一部、崩れかかっていますからね。  
翁 こちらは、そば、うどん、うな丼、カルビ丼……。『佳実』は「かみ」って読むのかな？

加 食堂にしちゃあイキな店名ですね。女将さんの名前かな。身の上話、聴きたいなあ。

翁 そうそう、ここ。「カラシ焼き」の店がある。まだ開いてない。あとで来ましょう。  
― 「カラシ焼き」ってなんですか？

翁 十条はいま「カラシ焼き」で町おこしに取り組んでいるらしいんです。トーバンジャン入りモツ煮込み